

令和6年度 第4回藤沢市市政運営の総合指針改定委員会

日時 2024年5月23日（木）

政策会議終了後

場所 庁議室

日 程

1 開会

2 議題

（1）前回会議の開催結果について

（2）市議会への取組状況の報告について

（3）議員全員協議会報告内容について（確認依頼）

（4）その他

3 閉会

（事務局 企画政策部企画政策課 内線2175）

議事録

藤沢市市政運営の総合指針改定委員会を次のとおり開催した。

会議名	令和6年度第3回藤沢市市政運営の総合指針改定委員会
開催日	2024年（令和6年）5月9日（木）8：40～9：35
場 所	本庁舎6階 庁議室
出席者	鈴木市長、中山副市長、川崎副市長、岩本教育長 （改定委員会委員） 総務部長、企画政策部長、財務部長、防災安全部長、市民自治部長、生涯学習部長、福祉部長、健康医療部長、保健所長、子ども青少年部長、環境部長、経済部長、計画建築部長、都市整備部長、道路河川部長、下水道部長、市民病院事務局長、消防局長、教育部長、議会事務局長、監査事務局長、選挙管理委員会事務局長、農業委員会事務局長
議 事	議題（審議事項） （1）前回会議の開催結果について （2）市政運営の総合指針2024重点事業の進捗状況に関する理事者ヒアリング実施結果について （3）次期市政運営の総合指針策定に向けた課題に関する理事者ヒアリング実施結果について （4）基本方針改定素案の作成に向けた意見照会について （5）その他
内 容	1 開会 2 議事 （1）前回会議の開催結果について 企画政策部長からの概要説明については省略。 《内容》 4月25日の第2回会議開催結果を確認いただくもの。 《主な意見等》 なし。 （2）市政運営の総合指針2024重点事業の進捗状況に関する理事者ヒアリング実施結果について （説明者：企画政策部長、企画政策課） 企画政策部長及び企画政策課から、資料に基づき概要説明が行われた。 《内容》 市政運営の総合指針2024重点事業の進捗状況に関する理事者ヒアリング実施結果について報告したもの。 《主な意見等》 なし。

内 容	(3) 次期市政運営の総合指針策定に向けた課題に関する理事者ヒアリング実施結果について (説明者：企画政策部長、企画政策課) 企画政策部長及び企画政策課から、資料に基づき概要説明が行われた。 《内容》 次期市政運営の総合指針策定に向けて、2040～2050年を見据えた望ましい姿と中長期課題についての説明と意見等を募るもの。 《主な意見等》 なし。 (4) 基本方針改定素案の作成に向けた意見照会について (説明者：企画政策部長、企画政策課) 企画政策部長及び企画政策課から、資料に基づき概要説明が行われた。 《内容》 基本方針改定素案の作成に向けた意見照会について説明し、意見提出に当たってご留意いただきたい事項について意見を募るもの。 《主な意見等》 ⇒当初就任した頃は、子育て世代の転入施策に一定の効果があったが、最近では他自治体でも類似施策を実施しているため、同じような効果が得られなくなっており、そこから脱却しないといけないと考えている。また、土地の値段や住宅の供給等により、藤沢市以西の自治体に転入者が増えている傾向があると考えている。開発か、あるいは緑があることが魅力なのかなど、様々な観点から議論していただきたい。 ⇒今後、人口が頭打ちになり、税収の見込みに先が見えないことを考えると、非常に厳しい状況だと思っている。様々な工事や建物修繕、大規模改修について、起債を充てているが、将来的な返済も考慮しながら施策を進めていく必要がある。高齢者と子どものどちらに力を入れるのかの議論については、バランスをとっていくのではないかと。また、新たな財源を生み出す歳入施策を考えていく視点が必要である。 ⇒自治体の抱える課題解決に向けてDXをどう行っていくかについて、印象的だったのがさいたま市である。人口減少社会を迎えるにあたって、人口減をどう抑え、税収を得ていくかが一番大事だと捉えて、特に若い世代の方々が転入し、ずっと住み続けてもらう政策
------------	--

内 容	を重視して、全ての政策が動いているという話であった。将来を見据えて、藤沢市では何が一番課題で、何を重視していくのかを捉えて、重点的、優先的にやっていくことが必要ではないか。 ⇒（１）から（９）の項目の中で、「藤沢らしさ」という言葉をあえて入れている。「藤沢らしさ」を政策として、あるいは各部局の施策事業として、どのように表現していくのかだと思っている。「藤沢らしさ」は、いわゆる「郷土愛あふれる藤沢」だと考えて、新しい「藤沢らしさ」を加えながら、実現するための政策になっているかどうかについて考えていただきたい。 ⇒「藤沢らしさ」は「郷土愛」もあるが、今までの藤沢の歴史や伝統などの特徴、また、得意とする分野を伸ばしていく感じをプラスすることだと考えている。例えば昔から社会教育活動が盛んなど、やりたいことが実現できる環境づくりをしていくなど、お金の給付だけではない施策が高齢者政策の中心となると考えている。また、自然との調和も藤沢の特徴だと感じるし、人材のマルチなパートナーシップも特徴である。オリンピックを２回開催し、いつでも誰でもどこでもスポーツができるのも特徴である。そういった藤沢の良さを表していけたらと考えている。 ⇒例えば、採用面接時に、どうして藤沢市を受験されたかを聞くと、人生設計を考えた上で、子育てしやすいまちと言われているので受験したという意見が結構ある。近隣市町にはない魅力を感じて藤沢市を選んだ部分を市として醸成していく必要があると感じている。 ⇒湘南大庭地区については、人口のボリュームゾーンが他の地区よりも大体 20 年先に行っている状況である。片側 2 車線の道路が青信号の間に渡れない方などをよく見かけるなど、本当に待ったなしの状態が来ている。現在は地区内に医療機関や買い物できる場所などがあるが、10 年後、15 年後に大規模店舗が撤退する、あるいはバス便が減るなどといったことが起きる危機感を持っている。現在、ライフタウンの活性化指針を作っていただいているが、理念だけでなく、今住んでいる方々が安心して暮らせるまちを作っていかなければ、地理的に藤沢市内の真ん中にある湘南大庭地区が魅力のないまちになっていってしまい、市全体のイメージにも影響すると感じている。 ⇒誰もがやりたいことを見つけられて実現できるまちに、は非常に大事なメッセージと思っている。そのための行政政策はどうあるべきか、市役所はどうあるべきかを考えていく必要がある。例えば、行政施策の公的責任領域の見直しをかけていくなど。また、市民窓口センターや保険年金課、介護保険課の窓口の協働事業をどう見直していくのか、13 地区のあり方なども今後必要な議論になってく
------------	--

内容	るかと思う。 ⇒県内の議員から、藤沢市役所に入ったところ、行事を行っている市民団体などを見かけて、すごく生き生きして見えたという話をいただいた。そういう部分は自信をもっていいし、市役所の敷地で野菜を売るなどは藤沢の特徴になっていると感じている。 ⇒改定委員会で決めていくことは、都市マスタープランの改定にも大きな影響がある。人口構造について、人口44万人の年齢中位を20～30年前からの推移を見ると、だんだん上がっている。一番人のボリューム感が多い世代に政策を当てていくというのは国も行っていると思うが、年齢中位の将来推計の数値を参考にしたい。将来都市構造を6都市拠点で組み立ててきているが、村岡だけは新駅であるということと、一番新しい開発地であることから、都市拠点として平成23年の都市マスタープランで加えたという経緯がある。藤沢駅との関係性が非常に強く、整理していく必要があると思っている。6都市拠点として位置づけるのであれば、都市マスも合わせる必要があると思っているので、議論を早めに進めたい。また、13地区別のまちづくりについて、コミュニティのあり方などを議論しておく必要があるのではないかとと思っている。(4)のコロナ禍を経た時代の変化に対応する視点だが、社会的な問題であり、ウイルスの問題ではないという認識でいいのかを確認しておきたい。 ⇒6つの都市拠点ということで今回の施政方針にも明記しているので、それが軸足になるということをお願いしたい。また、コロナ禍に関しては、例えば経済社会であったり、地域社会の変わるきっかけをもたらした部分と捉えている。DXの部分だと思っているが、今ではDXからLXに変えていかなければいけないという話も出ている。LXというのはライフスタイルトランスフォーメーションであり、デジタルを使ってライフスタイルをどんどん変えていくことである。このような転換のきっかけを与えたのが、コロナだと思っている。 ⇒先ほどの、人口ボリュームゾーンに対して政策展開をすることは当たり前の政策展開であると思う反面、将来世代の声をどう拾い上げていくのかの議論が必要かと思う。 ⇒人口の年齢中位については、将来人口推計の中でもかなり動いていくと思うので、今までの実績に加えて将来人口推計も見ていくということで、政策そのものに直接的に関わるとは考えてはいない。 (5) その他 なし。
-----------	---

内容	<<事務局からの連絡事項>> (説明者：企画政策部長、企画政策課) 次回の改定委員会では、6月の議員全員協議会の資料について共有する予定であり、引き続き協力をお願いしたい。 <<理事者からの講評>> ○将来の姿を想定しながら議論をして、総合指針を作れたら嬉しい。コロナ禍を経て、というところでは、健康に対する意識の高まりや、人権に対する意識の変遷など、表立って見えていない部分もあると感じているので、その辺りを捉えながらと考えている。 ○人口減があると税収が減るという話があったが、それを念頭に政策、アイディアを出してもらいたい。例えば、学校や子どもの施設など、現在進めているハード整備なども、これから使う人が減る想定の中で、今の仕様で本当にいいのかという視点も必要だと思っている。一方で、人口が減ってくれば、量より質になってきて、例えば、町内会などコミュニティの担い手不足や、スポーツ施設の利用者減などがあったとしても、濃厚な関係でのコミュニティの醸成が図られるとも思っている。また、職員数が減る一方で、テクノロジーの活用をせざるを得なくなるなど、全庁的にいろんな影響が出てくると思うので、そのような視点での検討をぜひお願いしたい。 ○都市間競争の話があったが、競い合っている場合ではないと感じている。「藤沢らしさ」をどのように表現していくかが一番議論すべきところと思っている。また、改定委員会の進行について、討論の意見が出にくいと感じているので、できれば委員会の1週間前に資料を配って、各委員において議論の内容を深めておくともう少し活発な意見交換ができると感じている。 ○(4)のコロナ禍を経た、ということで、ちょうど昨日が5類になってからの1年という話題もあるなか、私達が具体的に経験できた災害という、コロナの経験を生かすことは大事な視点だと思うが、これから20年30年先となれば、様々なことが起こるだろうと思っている。災害の経験を生かしてという視点に加えて、これから起こる可能性のある大規模災害を乗り越えた末の藤沢についても考えていかなければいけないと思っている。 3 閉会
-----------	--

市議会への取組状況の報告について

市政運営の総合指針2024の改定に関する取組状況を市議会に報告するため、市議会に対し、市議会6月定例会期間中の議員全員協議会開催を依頼する予定です。

1 議員全員協議会の開催日等について

(1) 開催日 6月18日(火)

(2) 場所 本会議場

※ 正副議長の了承を得て正式に依頼します。

※ 6月3日(月)の議会運営委員会において決定される見込みです。

※ 当日は、議会運営委員会の開催が予定されています。

2 出席者について(案)

出席者については、次の審査区分とし、出席者を調整します。

	審査区分(案)	市側出席者(案)
1	市政運営の総合指針2024の改定について	市長 両副市長 教育長 企画政策部長 企画政策課職員(事務局) <u>関係部長</u> <u>関係課職員</u>

なお、具体的に出席をお願いしたい委員及び関係課職員については、別紙資料2-2「6月18日開催の議員全員協議会 審査区分別出席依頼(案)」のとおりです。

(事務担当 企画政策部企画政策課)

6月18日開催の議員全員協議会 審査区分別出席依頼(案)

	委員・関係職員	区分 1	備考
		基本目標 1 から基本目標 8 までを除く事項	
1	市長	○	
2	中山副市長	○	
3	川崎副市長	○	
4	教育長	○	
5	総務部長	○	
6	企画政策部長	○	
7	財務部長	○	
8	防災安全部長	○	
9	市民自治部長	○	
10	生涯学習部長	○	
11	福祉部長	○	
12	健康医療部長	○	
13	保健所長	○	
14	子ども青少年部長	○	
15	環境部長	○	
16	経済部長	○	
17	計画建築部長	○	
18	都市整備部長	○	
19	道路河川部長	○	
20	下水道部長	○	
21	市民病院事務局長	○	
22	消防局長	○	
23	教育部長	○	
24	議会事務局長		
25	監査事務局長	○	
26	選挙管理委員会事務局長	○	
27	農業委員会事務局長	○	
28	企画政策部参事兼企画政策課長	○	
29	企画政策課主幹（再整備担当）	○	
30	企画政策課主幹（総務担当）	○	
31	企画政策課主幹	○	
32	企画政策課課長補佐	○	
33	財務部参事兼財政課長	○	
34	財政課主幹		
35	行革内部統制推進室長	○	
36	行革内部統制推進室主幹		

市政運営の総合指針2024の改定について

市政運営の総合指針2024の改定については、4月に市政運営の総合指針改定委員会（以下「総合指針改定委員会」という。）を設置するなど、年度内の改定に向けて、改定作業を進めています。今回は、これまでの取組経過、課題整理の状況、基本方針の改定の方向性等について報告するものです。

1 これまでの取組経過

（１）総合指針改定委員会の開催

総合指針改定委員会は、4月に第1回を開催した後、これまで合計4回開催し、主に基本方針の改定に関する検討を行いました。

（２）2040年問題及び長期ビジョン検討委員会の開催

概ね20年後本市において想定される課題等を踏まえた長期的な方向性や施策の検討を行うため、総務主管者会議構成員による2040年問題及び長期ビジョン検討委員会（以下「長期ビジョン検討委員会」という。）を設置しました。4月に第1回を開催した後、これまで合計3回開催し、議論に必要な資料の共有や論点の整理を行いました。

（３）部内会議・課内会議等での検討

各総合指針改定委員会の間には、各部各課において、政策・施策に関する分析・評価や基本方針改定素案作成に向けた庁内意見提出に向けて検討を行いました。

2 基本方針の改定に向けた課題の抽出と整理

（１）市民意識調査

「政策・施策に関する分析・評価について」（資料2）は、現行の総合指針に対する分析・評価として毎年実施している市民意識調査の経年変化等をもとに行いました。「めざす都市像」、「まちづくりコンセプト」、「基本目標」の分析・評価の概要については、次のとおりです。今後も、総合的かつ基本的な方向性は維持しつつ、重点化する項目について精査する必要があります。

ア 「めざす都市像」に関する分析・評価

都市像に関する２指標のうち、都市像の１（「誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること。」）については、指標値は８０％以上で推移しており、総合的な政策効果によるものと推察しています。また、都市像の２（「子どもが大人になっても愛着の持てるまちであること。」）についても、指標値が７５％を超えて上昇傾向で推移してきましたが、令和５年度に下がっていることに注視していく必要があると考えます。

イ 「まちづくりコンセプト」に関する分析・評価

まちづくりコンセプト３項目に関する指標については、令和３年度から１つの項目において、標本誤差（±２．８％）以上に指標値が向上しています。

一方、１項目について、指標値が３．１ポイント低下したのがありました。

ウ 「基本目標」に関する分析・評価

基本目標８項目に関する指標については、令和３年度から３つの項目において、標本誤差（±２．８％）以上に指標値が向上しています。また、その他の５項目においても、指標値が大幅に低下しているものではありませんでした。

（２）市政運営の総合指針２０２４重点事業の進捗状況

４月下旬から５月上旬にかけて、市政運営の総合指針２０２４重点事業の進捗状況について、部局ごとに市長・両副市長によるヒアリングを実施しました。進捗状況の確認結果は、資料３のとおりです。

（３）将来人口推計と直近の人口推移

「藤沢市将来人口推計と直近の人口推移について」（資料４）のとおり、令和４年度に実施した将来人口推計などをベースに、本市の人口に関する分析、検討を行いました。

（４）各部局の中長期課題等

４月下旬から５月上旬にかけて、次期市政運営の総合指針策定に向けた課題について、部局ごとに市長・両副市長によるヒアリングを実施しました。基本方針改定に関わる「２０４０年～２０５０年を見据えた中長期課題・望ましい姿（一覧）」は、資料５のとおりです。

（５）藤沢市未来共創会議

令和３年度から令和５年度にかけて実施した藤沢市未来共創会議（藤沢市未来共創セッション）では、本市に関わる多様な参加者に「ありたい未来が実現

したときの暮らしのシーン」や「ありたい姿を実現するための具体的な活動企画」を考えていただきました。3箇年の総括資料については、資料6のとおりです。

3 基本方針の改定の方向性（骨子案）

現行の総合指針である「市政運営の総合指針2024」の計画期間内における政策、施策及び重点事業に関する分析・評価、外部環境の分析、政策課題の抽出等の確認を行った結果、基本方針のうち「めざす都市像」「まちづくりコンセプト」は基本的に継承し、「藤沢市の現状と見通し」「基本目標」等は今後の改定作業の中で議論を深め、必要な見直しを行っていきたいと考えています。

（表題）

（はじめにの構成）

1 藤沢市の現状と見通し

- (1) 人口動態
- (2) 財政状況
- (3) 土地利用

2 藤沢市の特性

- (1) 自然環境・歴史・文化・人材
- (2) 都市としての性格
- (3) 市民自治

（基本方針の構成）

1 策定の背景と意義

- (1) 自治体総合計画の沿革
- (2) 総合計画に替わる新たな仕組みとしての「市政運営の総合指針」
- (3) 市政運営の総合指針2024改定にあたって

2 構成と期間

- (1) 構成
- (2) 期間

3 長期的な視点

- (1) めざす都市像

郷土愛あふれる藤沢 ～松風に人の和うるわし 湘南の元気都市～

(2) まちづくりコンセプト

- ・ 藤沢らしさを未来につなぐ持続可能な元気なまち（サステナブル藤沢）
- ・ 共生社会の実現をめざす誰一人取り残さないまち（インクルーシブ藤沢）
- ・ 最先端テクノロジーを活用した安全安心で暮らしやすいまち（スマート藤沢）

(3) 基本目標

- ・ 安全な暮らしを守る
- ・ 文化・スポーツを盛んにする
- ・ 自然を守り豊かな環境をつくる
- ・ 子どもたちを守り育む
- ・ 健康で安心な暮らしを支える
- ・ 地域経済を循環させる
- ・ 都市基盤を充実する
- ・ 市民自治・地域づくりを進める

これまでの検討結果を踏まえ、見直しにかかる視点は、次のとおりです。

○2035年以降想定される人口減少に関する視点

○高齢者の大幅な増加や生産年齢人口の減少など、人口構造の大きな変化に対応する視点

○投資の最適化、財政余力の創出を図る視点

○将来にわたる都市構造の構築や都市づくりを図る視点

○コロナ禍を経た時代の変化に対応する視点

○「藤沢らしさ」を大切にする視点

○コミュニティ、パートナーシップ、テクノロジーを積極的に活用する視点

○市民から求められる職員像に関する視点

○市長公約や令和6年度施政方針の内容を反映する視点

○「市民意識調査」など、市民の意見を反映する視点

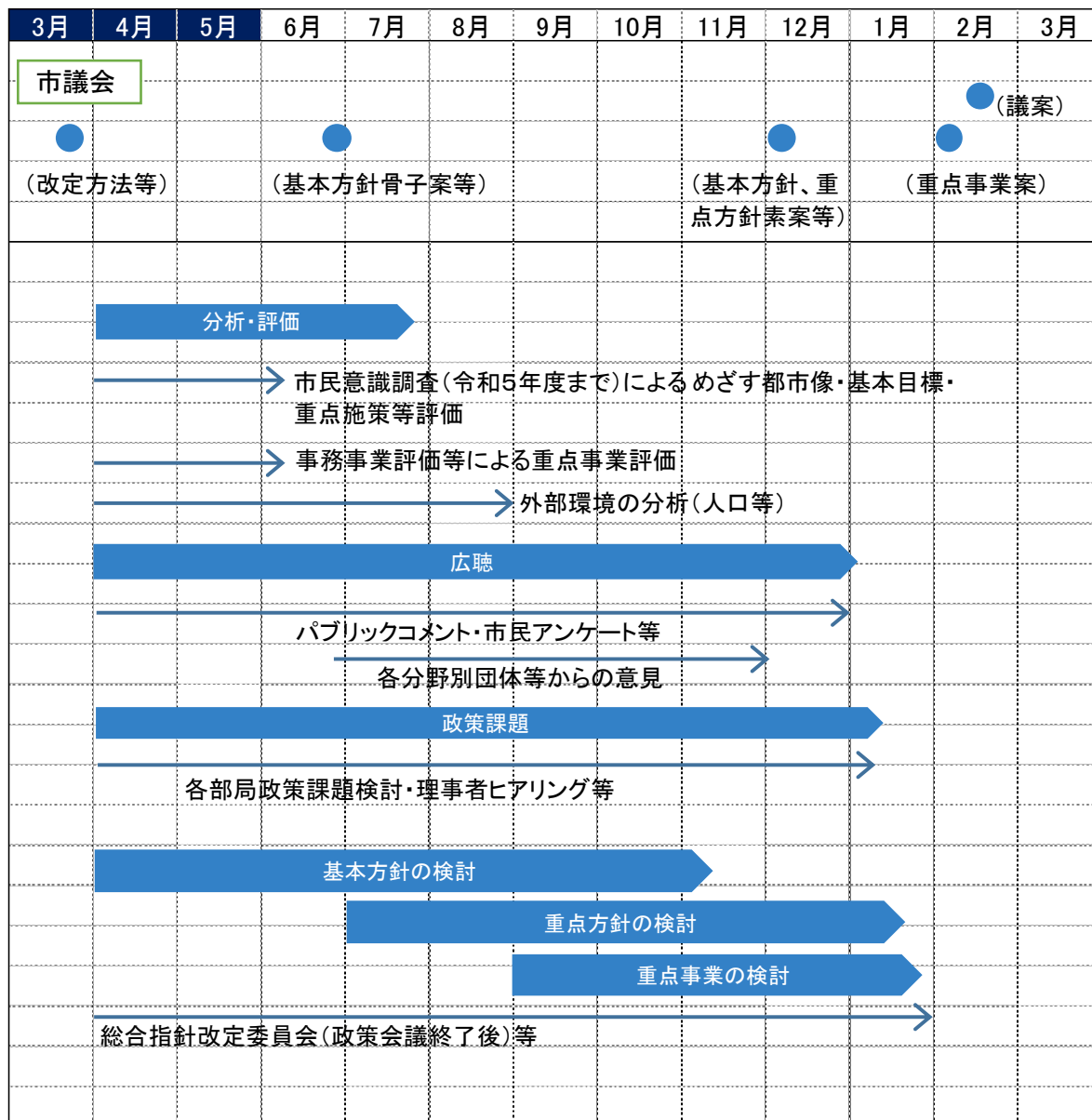
4 今後の取組予定

引き続き、基本方針改定の検討を進め、市政運営の総合指針の「はじめに」及び「第1章 基本方針」の部分までの改定素案を作成していくとともに、重点方針改定の検討を行います。

また、広く市民の意見を反映させるため、パブリックコメントのほか、市民意識調査及び市民アンケートを実施します。市民アンケートは、デジタルを中心とし、年齢の下限をなくすことで、幅広い世代の意見を聴取するよう努めます。さらに、13地区での説明や、関係団体からの意見聴取を進めていきます。

大学生を交えた長期課題の検討については、市内大学に参加者を募集し、ワークショップを実施します。

総合指針改定委員会及び長期ビジョン検討委員会での議論を通じて、基本方針改定素案の内容の充実を図るとともに、緊急かつ重要な課題のほか、長期課題からのバックキャスティングをもとに重点方針の改定素案をまとめ、12月市議会定例会会期中に議員全員協議会の開催をお願いし、ご報告したいと考えています。



(事務担当 企画政策部 企画政策課)

政策・施策に関する評価について

1 基本方針に関する評価

令和3年度以降の市民意識調査では、実現度が向上した項目と低下した項目が半々となっています。都市像に関する2つの指標については、実現度が80.0%と79.8%となっており、総合的に一定の成果が見られています。

まちづくりコンセプトに関する3つの指標については、令和3年度から1つの項目、基本目標8項目に関する指標については、3つの項目において、標本誤差（±2.8%）以上に指標値が向上しています。一方、まちづくりコンセプトの1項目について、指標値が3.1ポイント低下したのがありました。今後も、総合的かつ基本的な方向性は維持しつつ、重点化する項目について精査する必要があります。

区分	都市像・まちづくりコンセプト・基本目標	指標（アンケート内容）	R3年度 調査結果	R4年度 調査結果	R5年度 調査結果
都市像1	郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和うるわし湘南の元気都市～	誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること	80.0%	82.1%	80.0%
都市像2	郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和うるわし湘南の元気都市～	子どもが大人になっても愛着の持てるまちであること	81.8%	82.8%	79.8%
まちづくり コンセプト 1	藤沢らしさを未来につなぐ持続可能な元気なまち（サステナブル藤沢）	将来にわたって、多くの人に愛され住み続けたいと思えるまちであること	80.7%	81.8%	77.6%
まちづくり コンセプト 2	共生社会の実現をめざす誰一人取り残さないまち（インクルーシブ藤沢）	人権が守られ、多様性を認め合う、支え合いのまちであること	67.0%	68.1%	66.5%
まちづくり コンセプト 3	最先端テクノロジーを活用した安全安心で暮らしやすいまち（スマート藤沢）	デジタル技術など、最先端のテクノロジーが活用されたまちであること	26.3%	29.7%	31.1%
基本目標1	安全な暮らしを守る	災害に対して、市民が不安なく暮らせていること	57.0%	57.2%	60.3%
基本目標2	文化・スポーツを盛んにする	地域の歴史や文化が継承されていること	66.7%	69.0%	69.7%
基本目標3	自然を守り豊かな環境をつくる	まちと自然環境との調和がとれていること	76.7%	81.5%	75.7%
基本目標4	子どもたちを守り育む	子どもを安心して育てられる環境があること	76.0%	75.4%	73.7%
基本目標5	健康で安心な暮らしを支える	保健、医療、福祉、健康などの生活環境が整い、暮らしやすいこと	73.4%	74.0%	75.1%

区分	都市像・まちづくりコンセプト・基本目標	指標（アンケート内容）	R3年度 調査結果	R4年度 調査結果	R5年度 調査結果
基本目標6	地域経済を循環させる	産業の活力があり、地域が元気であること	54.2%	54.5%	55.5%
基本目標7	都市基盤を充実する	道路や施設が誰でも利用できるものであること	67.1%	67.3%	66.3%
基本目標8	市民自治・地域づくりを進める	市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること	45.5%	45.1%	50.0%

※ 各年度の調査結果は、全体の回答から「わからない」等を除いたものに対する実現、満足（「よくできている」、「だいたいできている」）等のプラスの回答の割合です。

※ 標本誤差とは、標本調査は調査対象が無作為抽出となり調査結果が必ずしも全数調査の値とは一致せずに誤差がでることを指します。市民意識調査においては、全市分の調査に関して標本誤差を±2.8%として捉えています。

(1) 「めざす都市像」に関する指標

都市像に関する2指標のうち、都市像の1については、指標値は80%以上で推移しており、総合的な政策効果によるものと推察しています。

一方で、都市像の2についても、指標値が75%を超えて上昇傾向で推移してきましたが、令和5年度に下がっていることに注視していく必要があると考えます。この項目には、未来を見据えたまちづくりに対する評価が含まれていますが、年代別の比較では、年代が下がるにつれて、向上していく傾向があること、地区別の比較では、南部地域が高い傾向にあることが挙げられます。

(2) まちづくりコンセプトに関する指標

ア サステナブル藤沢に関しては、令和3年度、令和4年度と80%を超えて高い指標値で推移をしており、本市の将来性が高く評価されています。令和5年度の指標値が77.6%と、高い数値ではあるものの下がっていることに注視していく必要があると考えます。また、年代別に比較すると、年代が下がるにつれて、向上していく傾向にあります。

イ インクルーシブ藤沢に関しては、指標値が60%台後半で安定して推移しています。一方で、「わからない」と回答する人が20%を超えている状況が継続しており、令和5年度には4人に1人（25.5%）となっています。また、年代別では、60歳代以降の評価が低い傾向にあります。地区別では、北部地域が低い傾向にあることが挙げられます。

ウ スマート藤沢に関しては、指標値が 30%と他の 2 指標と比較して低くはありますが、年々向上している状況です。また、年代別にみると 40 歳代の評価が低い傾向が見受けられます。加えて、令和 5 年度では 60 歳代以上の 30% 超が「わからない」と回答しています。地区別では、辻堂・明治地区が高い傾向にあることが挙げられます。

(3) 基本目標に関する指標

ア 防災に関しては、令和 5 年度に指標値が向上し、初めて 60%を超えました。耐震化の進展や施策の情報発信などに一定の効果があったものと推察されます。しかしながら、令和 6 年能登半島地震が発生する前に調査した結果であることから、今後の動向を注視する必要があります。地区別で比較をすると、以前は北部地域で評価が高い傾向にありましたが、令和 5 年度の指標値では地域間の差は特にありません。

イ 文化・スポーツに関しては、指標値が向上し、令和 5 年度には 70%に迫っています。東京 2020 オリンピック・パラリンピックが開催され、スポーツ都市宣言を制定した令和 3 年度に指標値が大きく向上し、その後もその理念の実現に向けた各施策に幅広く取り組んできたことが数値に表れているものと推察されます。

ウ 環境に関しては、自然環境を生かしたまちづくりを進めてきたことに加え、令和 3 年に「藤沢市気候非常事態宣言」を表明し、環境基本計画を前倒して改定するなど気候変動対策に取り組んでいます。令和 4 年度に指標値が 80%を超えましたが、令和 5 年度には 75%と 5 ポイント以上低下しました。年代別に比較すると、20 歳代（18 歳・19 歳を含む。以下同様）～40 歳代の評価が高い傾向が続いています。

エ 子育てに関しては、指標値は 70%台で推移しているものの、令和 3 年度から低下傾向にあります。他自治体の子育てに関する施策との比較や待機児童対策だけでなく、子ども連れで過ごしやすい環境が街中に整っているかなどが評価に影響していると推察されます。また、年代別では、70 歳代～80 歳代以上で無回答が多くなっています。

オ 医療、福祉等に関しては、令和 3 年度に指標値が前年度に比べ低下したものの、再び上昇傾向となり、75%を超えています。この変動については、新

型コロナウイルス感染症により、健康を取り巻く社会環境が大きく変化したことが要因と考えられます。令和4年度及び令和5年度では、すべての年代で、指標値が70%を超えています。また、年代別や地区別による大きな差も見られません。

カ 産業・経済に関しては、指標値が向上し、令和5年度には55%を超えています。コロナ禍において実施した、さまざまな経済対策が地域経済の循環につながり、評価に表れたものと推察されます。年代別で比較をすると、20歳代～50歳代の評価が高い傾向にあります。地区別では、辻堂・明治地区の評価が継続して高い一方で、北部地域においては地域ごとの評価に経年も含めばらつきがある傾向が見受けられます。

キ 都市基盤に関しては、指標値は60%後半で安定しています。年代別に比較すると、年代が下がるにつれて、向上していく傾向にあります。高齢化の進展により評価が変動する可能性に留意が必要です。また、地区ごとの評価では、市の中部に位置する地域の評価が高い傾向があります。公共インフラの整備が実感できると評価が高まる傾向にあると推察されます。

ク 市民参加、市民活動関係に関しては、令和3年度に指標値が前年度に比べ低下したものの、令和5年度に5ポイント近く向上し、初めて50%に達しました。チームF U J I S A W A 2 0 2 0の取組や本市の強みである地域における市民主体のまちづくり活動がコロナ禍において評価されたものと推察されます。年代別に比較すると、20歳代～60歳以上で「わからない」の回答が20%を超えている状況が継続しています。

2 重点方針に関する評価

重点方針のうち、重点施策に関する指標値の状況は別表のとおりです。

(1) 指標値の高いもの

令和5年度調査において、指標値が50%を超えているものは、次表のとおりです。

区分	重点施策	指標（アンケート内容）	R3年度 調査結果	R4年度 調査結果	R5年度 調査結果
重点 施策	災害対策の充実	消防や救急の活動が充実し、安心できると感じますか？	76.8%	76.3%	76.4%

区分	重点施策	指標（アンケート内容）	R3 年度 調査結果	R4 年度 調査結果	R5 年度 調査結果
重点 施策	防犯・交通安全対策の充 実	犯罪のない安全なまちであると 感じますか？	63. 7%	63. 3%	65. 4%
重点 施策	感染症対策の強化	新型コロナウイルス等の感染症 対策ができていると感じます か？	55. 1%	71. 0%	66. 2%
重点 施策	健康寿命日本一に向けた 健康増進・介護予防等の 促進	健康づくりを支える環境が充実 していると感じますか？	47. 1%	53. 4%	50. 4%
重点 施策	健康寿命日本一に向けた 健康増進・介護予防等の 促進	受動喫煙のないまちであると感 じますか？	57. 9%	58. 7%	61. 1%
重点 施策	健康寿命日本一に向けた 健康増進・介護予防等の 促進	定期的に検診や健康チェックを 受けやすい環境が整っていると 感じますか？	76. 5%	78. 0%	79. 0%
重点 施策	健康寿命日本一に向けた 健康増進・介護予防等の 促進	市民病院の機能（建物）が充実 していると感じますか？	—	—	70. 4%
重点 施策	子どもの健やかな成長に 向けた支援の充実	保育など子育て支援が充実して いると感じますか？	56. 6%	57. 1%	51. 1%
重点 施策	支援を必要とする子ど も・若者への支援の充実	子どもや若者が、住んでいる地 域に誇りを持って暮らしていると 感じますか？	59. 4%	63. 4%	57. 1%
重点 施策	住生活環境の向上と誰も が移動しやすい交通体系 の構築	交通が便利で移動しやすいと感 じますか？	68. 4%	66. 3%	64. 9%
重点 施策	地域経済循環を高める経 済対策の推進	市内の商業に活気があると感じ ますか？	48. 7%	50. 4%	52. 9%
重点 施策	地域経済循環を高める経 済対策の推進	市内の観光に活力があると感じ ますか？	64. 0%	66. 9%	68. 0%
重点 施策	豊かな自然を守り・生か す環境対策の推進	環境に配慮したごみ処理がされ ていると感じますか？	75. 4%	79. 0%	77. 8%
重点 施策	デジタル市役所・スマー トシティの推進	インターネットの活用などによ り、さまざまな行政手続きが便 利になっていると感じますか？	42. 1%	50. 0%	52. 5%
重点 施策	次世代につなげる歴史・ 文化施策の推進と多彩な 魅力の発信	歴史・文化など、豊かな地域の 資源が継承されていると感じま すか？	50. 5%	53. 7%	55. 9%
重点 施策	次世代につなげる歴史・ 文化施策の推進と多彩な 魅力の発信	市内に文化的な魅力があると感じ ますか？	47. 8%	50. 3%	51. 6%
重点 施策	次世代につなげる歴史・ 文化施策の推進と多彩な 魅力の発信	市民が自慢できるまちであると 感じますか？	72. 2%	75. 9%	71. 9%
重点 施策	市民参加型東京 2020 大 会のレガシー創出	スポーツ活動が充実していると 感じますか？	47. 5%	52. 0%	54. 3%

(2) 指標値の低いもの

令和5年度調査において、指標値が30%以下のものは、次表のとおりです。

指標値が低い要因は、事業成果そのものではなく、認知度、理解度、報道等の状況などに起因する点も多くあることを認識し、分析する必要があります。

区分	重点施策	指標（アンケート内容）	R3年度 調査結果	R4年度 調査結果	R5年度 調査結果
重点 施策	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進	自然エネルギーが有効活用されていると感じますか？	14.9%	17.4%	16.2%
重点 施策	地域共生社会の実現に向けた取組の推進	高齢者の在宅・介護サービスについて	25.5%	27.7%	25.6%
重点 施策	地域共生社会の実現に向けた取組の推進	身近な地域における困りごとの相談の場や支援体制について	17.2%	18.1%	19.8%
重点 施策	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進	市民主体のまちづくり活動について	21.1%	21.1%	25.5%
重点 施策	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進	自治会・町内会の活動について	21.2%	22.0%	23.2%
重点 施策	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	個性豊かな児童生徒の育成について	17.0%	18.7%	18.2%
重点 施策	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	保育園の待機児童の解消について	25.5%	27.9%	21.6%
重点 施策	支援を必要とする子ども・若者への支援の充実	困難を抱える子ども・若者への支援について	13.2%	15.7%	15.7%
重点 施策	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	橋や下水道の老朽化対策について	16.7%	19.7%	19.4%
重点 施策	住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築	道路や住宅の整備について	23.3%	23.9%	22.7%
重点 施策	豊かな自然を守り・生かす環境対策の推進	美しい街並みなど、市内の景観づくりについて	29.2%	32.6%	29.8%
重点 施策	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信	生涯学習の機会や場の提供について	21.1%	18.7%	22.7%

(3) 指標値が上昇したもの

令和5年度調査において、令和3年度調査から指標値が5ポイント以上上昇したものは、次表のとおりです。

区分	重点施策	指標（アンケート内容）	R3 年度 調査結果	R4 年度 調査結果	R5 年度 調査結果	R3 年度と の差
重点 施策	感染症対策の強化	新型コロナウイルス等の感染症対策ができていると感じますか？	55.1%	71.0%	66.2%	11.1
重点 施策	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの促進	地域の支え合いがあり、交流や活動が盛んだと感じますか？	36.2%	41.2%	41.4%	5.2
重点 施策	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	パソコンなどの情報機器を使った学校での教育活動が盛んであると感じますか？	32.7%	40.1%	39.6%	6.9
重点 施策	地域経済循環を高める経済対策の推進	市内の工業に活気があると感じますか？	35.3%	37.2%	40.3%	5.0
重点 施策	デジタル市役所・スマートシティの推進	インターネットの活用などにより、さまざまな行政手続きが便利になっていると感じますか？	42.1%	50.0%	52.5%	10.4
重点 施策	人材育成の推進	いろいろな分野で多様な人材が活躍できる環境が整っていると感じますか？	24.5%	27.7%	31.8%	7.3
重点 施策	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信	歴史・文化など、豊かな地域の資源が継承されていると感じますか？	50.5%	53.7%	55.9%	5.4
重点 施策	市民参加型東京 2020 大会のレガシー創出	ボランティアなどの活動が積極的に行われていると感じますか？	39.7%	40.5%	46.4%	6.7
重点 施策	市民参加型東京 2020 大会のレガシー創出	スポーツ活動が充実していると感じますか？	47.5%	52.0%	54.3%	6.8

(4) 指標値が下降したもの

令和 5 年度調査において、令和 3 年度調査から 3 ポイント以上指標値が下降したものは、次表のとおりです。

区分	重点施策	指標（アンケート内容）	R3 年度 調査結果	R4 年度 調査結果	R5 年度 調査結果	R3 年度と の差
重点 施策	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	保育など子育て支援が充実していると感じますか？	56.6%	57.1%	51.1%	-5.5
重点 施策	住生活環境の向上と誰もが移動しやすい交通体系の構築	交通が便利で移動しやすいと感じますか？	68.4%	66.3%	64.9%	-3.5

区分	重点施策	指標（アンケート内容）	R3 年度 調査結果	R4 年度 調査結果	R5 年度 調査結果	R3 年度と の差
重点 施策	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	安心して子育てができる環境づくりについて	37.0%	38.8%	33.8%	-3.2
重点 施策	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	保育園の待機児童の解消について	25.5%	27.9%	21.6%	-3.9
重点 施策	都市基盤の充実と長寿命化対策の推進	駅をはじめとする拠点の整備について	36.5%	34.7%	33.0%	-3.5

3 全指標の集計結果（参考）

都市像・まちづくりコンセプト・基本目標・重点施策に関する指標については、次のとおりです。

区分	都市像・まちづくりコンセプト・基本目標・重点施策	指標（アンケート内容）	R3 年度 調査結果	R4 年度 調査結果	R5 年度 調査結果	R3 年度と の差
都市像 1	郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和うるわし湘南の元気都市～	誰もが快適に暮らせ、居心地の良いまちであること	80.0%	82.1%	80.0%	0.0
都市像 2	郷土愛あふれる藤沢～松風に人の和うるわし湘南の元気都市～	子どもが大人になっても愛着の持てるまちであること	81.8%	82.8%	79.8%	-2.0
まちづくり コンセプト 1	藤沢らしさを未来につなぐ持続可能な元気なまち（サステナブル藤沢）	将来にわたって、多くの人に愛され住み続けたいと思えるまちであること	80.7%	81.8%	77.6%	-3.1
まちづくり コンセプト 2	共生社会の実現をめざす誰一人取り残さないまち（インクルーシブ藤沢）	人権が守られ、多様性を認め合う、支え合いのまちであること	67.0%	68.1%	66.5%	-0.5
まちづくり コンセプト 3	最先端テクノロジーを活用した安全安心で暮らしやすいまち（スマート藤沢）	デジタル技術など、最先端のテクノロジーが活用されたまちであること	26.3%	29.7%	31.1%	4.8
基本目標 1	安全な暮らしを守る	災害に対して、市民が不安なく暮らせていること	57.0%	57.2%	60.3%	3.3
基本目標 2	文化・スポーツを盛んにする	地域の歴史や文化が継承されていること	66.7%	69.0%	69.7%	3.0
基本目標 3	自然を守り豊かな環境をつくる	まちと自然環境との調和がとれていること	76.7%	81.5%	75.7%	-1.0

区分	都市像・まちづくり コンセプト・基本目標・ 重点施策	指標（アンケート内容）	R3 年度 調査結果	R4 年度 調査結果	R5 年度 調査結果	R3 年度と の差
基本目 標4	子どもたちを守り育む	子どもを安心して育てら れる環境があること	76.0%	75.4%	73.7%	-2.3
基本目 標5	健康で安心な暮らしを 支える	保健、医療、福祉、健康 などの生活環境が整い、 暮らしやすいこと	73.4%	74.0%	75.1%	1.7
基本目 標6	地域経済を循環させる	産業の活力があり、地域 が元気であること	54.2%	54.5%	55.5%	1.3
基本目 標7	都市基盤を充実する	道路や施設が誰でも利用 できるものであること	67.1%	67.3%	66.3%	-0.8
基本目 標8	市民自治・地域づくり を進める	市民の意識が高く、市民 参加型の地域づくりが進 んでいること	45.5%	45.1%	50.0%	4.5
重点施 策	災害対策の充実	地域で災害への備えがで きていると感じますか？	47.7%	46.1%	47.6%	-0.1
重点施 策	災害対策の充実	消防や救急の活動が充実 し、安心できると感じま すか？	76.8%	76.3%	76.4%	-0.4
重点施 策	防犯・交通安全対策の 充実	犯罪のない安全なまちで あると感じますか？	63.7%	63.3%	65.4%	1.7
重点施 策	感染症対策の強化	新型コロナウイルス等の 感染症対策ができてい ると感じますか？	55.1%	71.0%	66.2%	11.1
重点施 策	地域共生社会の実現に 向けた取組の推進	福祉が充実し、子どもか ら高齢者まで守られてい ると感じますか？	47.2%	47.8%	48.2%	1.0
重点施 策	健康寿命日本一に向け た健康増進・介護予防 等の促進	健康づくりを支える環境 が充実していると感じま すか？	47.1%	53.4%	50.4%	3.3
重点施 策	健康寿命日本一に向け た健康増進・介護予防 等の促進	受動喫煙のないまちであ ると感じますか？	57.9%	58.7%	61.1%	3.2
重点施 策	健康寿命日本一に向け た健康増進・介護予防 等の促進	定期的に検診や健康 チェックを受けやすい環 境が整っていると感じま すか？	76.5%	78.0%	79.0%	2.5
重点施 策	健康寿命日本一に向け た健康増進・介護予防 等の促進	市民病院の機能（建物） が充実していると感じま すか？	—	—	70.4%	—

区分	都市像・まちづくりコン セプト・基本目標・ 重点施策	指標（アンケート内容）	R3 年度 調査結果	R4 年度 調査結果	R5 年度 調査結果	R3 年度と の差
重点施 策	コミュニティの活性化 による持続的な地域づ くりの促進	地域の支え合いがあり、 交流や活動が盛んだと感 じますか？	36.2%	41.2%	41.4%	5.2
重点施 策	子どもたちの笑顔あふ れる学校教育の推進	パソコンなどの情報機器 を使った学校での教育活 動が盛んであると感じま すか？	32.7%	40.1%	39.6%	6.9
重点施 策	子どもたちの笑顔あふ れる学校教育の推進	子どもたちが意欲的に学 ぶことができる教育環境 が整備されていると感じ ますか？	45.7%	48.5%	47.8%	2.1
重点施 策	子どもの健やかな成長 に向けた支援の充実	保育など子育て支援が充 実していると感じます か？	56.6%	57.1%	51.1%	-5.5
重点施 策	支援を必要とする子ど も・若者への支援の充 実	子どもや若者が、住んで いる地域に誇りを持って 暮らしていると感じます か？	59.4%	63.4%	57.1%	-2.3
重点施 策	都市基盤の充実と長寿 命化対策の推進	公共施設を次世代のため に、より良い状態で引き 継ぎ続けていると感じま すか？	41.1%	43.1%	40.2%	-0.9
重点施 策	住生活環境の向上と誰 もが移動しやすい交通 体系の構築	交通が便利で移動しやす いと感じますか？	68.4%	66.3%	64.9%	-3.5
重点施 策	地域経済循環を高める 経済対策の推進	市内の工業に活気がある と感じますか？	35.3%	37.2%	40.3%	5.0
重点施 策	地域経済循環を高める 経済対策の推進	市内の商業に活気がある と感じますか？	48.7%	50.4%	52.9%	4.2
重点施 策	地域経済循環を高める 経済対策の推進	市内の農水産業に活気 があると感じますか？	47.8%	47.4%	48.6%	0.8
重点施 策	地域経済循環を高める 経済対策の推進	市内の観光に活力がある と感じますか？	64.0%	66.9%	68.0%	4.0
重点施 策	豊かな自然を守り・生 かす環境対策の推進	自然エネルギーが有効活 用されていると感じます か？	14.9%	17.4%	16.2%	1.3
重点施 策	豊かな自然を守り・生 かす環境対策の推進	環境に配慮したごみ処理 がされていると感じます か？	75.4%	79.0%	77.8%	2.4

区分	都市像・まちづくりコンセプト・基本目標・重点施策	指標（アンケート内容）	R3 年度 調査結果	R4 年度 調査結果	R5 年度 調査結果	R3 年度と の差
重点施策	デジタル市役所・スマートシティの推進	インターネットの活用などにより、さまざまな行政手続きが便利になっていると感じますか？	42.1%	50.0%	52.5%	10.4
重点施策	人材育成の推進	いろいろな分野で多様な人材が活躍できる環境が整っていると感じますか？	24.5%	27.7%	31.8%	7.3
重点施策	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信	歴史・文化など、豊かな地域の資源が継承されていると感じますか？	50.5%	53.7%	55.9%	5.4
重点施策	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信	市内に文化的な魅力があると感じますか？	47.8%	50.3%	51.6%	3.8
重点施策	次世代につなげる歴史・文化施策の推進と多彩な魅力の発信	市民が自慢できるまちであると感じますか？	72.2%	75.9%	71.9%	-0.3
重点施策	市民参加型東京 2020 大会のレガシー創出	ボランティアなどの活動が積極的に行われていると感じますか？	39.7%	40.5%	46.4%	6.7
重点施策	市民参加型東京 2020 大会のレガシー創出	スポーツ活動が充実していると感じますか？	47.5%	52.0%	54.3%	6.8
重点施策	地域共生社会の実現に向けた取組の推進	高齢者の在宅・介護サービスについて	25.5%	27.7%	25.6%	0.1
重点施策	地域共生社会の実現に向けた取組の推進	身近な地域における困りごとの相談の場や支援体制について	17.2%	18.1%	19.8%	2.6
重点施策	健康寿命日本一に向けた健康増進・介護予防等の促進	いつでも安心して受けられる医療の充実について	40.3%	40.3%	37.6%	-2.7
重点施策	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進	市民主体のまちづくり活動について	21.1%	21.1%	25.5%	4.4
重点施策	コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進	自治会・町内会の活動について	21.2%	22.0%	23.2%	2.0
重点施策	子どもたちの笑顔あふれる学校教育の推進	個性豊かな児童生徒の育成について	17.0%	18.7%	18.2%	1.2
重点施策	子どもの健やかな成長に向けた支援の充実	安心して子育てができる環境づくりについて	37.0%	38.8%	33.8%	-3.2

区分	都市像・まちづくりコ ンセプト・基本目標・ 重点施策	指標（アンケート内容）	R3 年度 調査結果	R4 年度 調査結果	R5 年度 調査結果	R3 年度と の差
重点施 策	子どもの健やかな成長 に向けた支援の充実	保育園の待機児童の解消 について	25. 5%	27. 9%	21. 6%	-3. 9
重点施 策	支援を必要とする子ど も・若者への支援の充 実	困難を抱える子ども・若 者への支援について	13. 2%	15. 7%	15. 7%	2. 5
重点施 策	都市基盤の充実と長寿 命化対策の推進	橋や下水道の老朽化対策 について	16. 7%	19. 7%	19. 4%	2. 7
重点施 策	都市基盤の充実と長寿 命化対策の推進	駅をはじめとする拠点の 整備について	36. 5%	34. 7%	33. 0%	-3. 5
重点施 策	住生活環境の向上と誰 もが移動しやすい交通 体系の構築	道路や住宅の整備につい て	23. 3%	23. 9%	22. 7%	-0. 6
重点施 策	豊かな自然を守り・生 かす環境対策の推進	美しい街並みなど、市内 の景観づくりについて	29. 2%	32. 6%	29. 8%	0. 6
重点施 策	豊かな自然を守り・生 かす環境対策の推進	緑地や樹木などの緑の保 全について	33. 9%	38. 1%	33. 0%	-0. 9
重点施 策	豊かな自然を守り・生 かす環境対策の推進	河川や海などの水の保全 について	30. 3%	31. 2%	30. 6%	0. 3
重点施 策	次世代につなげる歴 史・文化施策の推進と 多彩な魅力の発信	生涯学習の機会や場の提 供について	21. 1%	18. 7%	22. 7%	1. 6

市政運営の総合指針2024重点事業の進捗状況に関する
理事者ヒアリング実施結果について

令和6年度は、市政運営の総合指針2024の最終年度であり、重点事業については課題を解消し、進捗を図る必要があります。加えて、次期総合指針の改定作業として、その実施状況を事務事業評価等により分析・評価を行い、課題を整理することとしています。

そのため、4月下旬から5月上旬にかけて市政運営の総合指針2024重点事業の進捗状況について理事者ヒアリングを実施しました。進捗状況の確認結果は次のとおりです。

1 総合指針2024重点事業の令和5年度進捗状況（令和6年3月末時点）

（1）「概ね計画どおり」 98事業

（2）「課題あり」「困難」 5事業

まちづくりテーマ3

ア 鵜沼中学校改築事業費

まちづくりテーマ4

イ 住宅政策推進費

ウ 農業基盤整備事業費（耕作条件の改善支援（城・稻荷地区））

まちづくりテーマ5

エ 【特別会計】下水道事業費（辻堂浄化センター雨水滞水池等）

オ マイナンバーカード普及促進事業費

2 令和4年度までに達成している事業（参考）

（令和3年度まで）

ア 辻堂市民センター改築事業費

（令和4年度まで）

ア 善行市民センター改築事業費

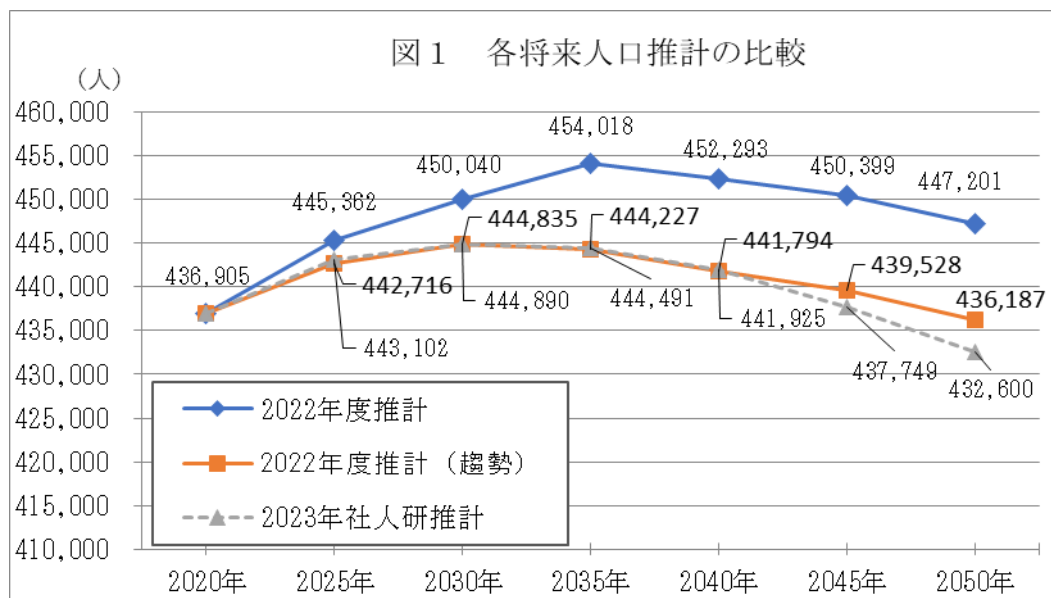
※公園改修費（鵜沼海浜公園）《再掲》は、供用開始を達成目標とし進捗状況を把握

以 上

藤沢市将来人口推計と直近の人口推移について

1 将来人口推計について

2020年に実施された国勢調査結果に基づいて、市が推計した将来人口推計結果（大規模開発を加味したもの／加味しないもの（趨勢））及び国立社会保障・人口問題研究所（社人研）「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」による本市の将来人口推計の比較については次のとおりです。

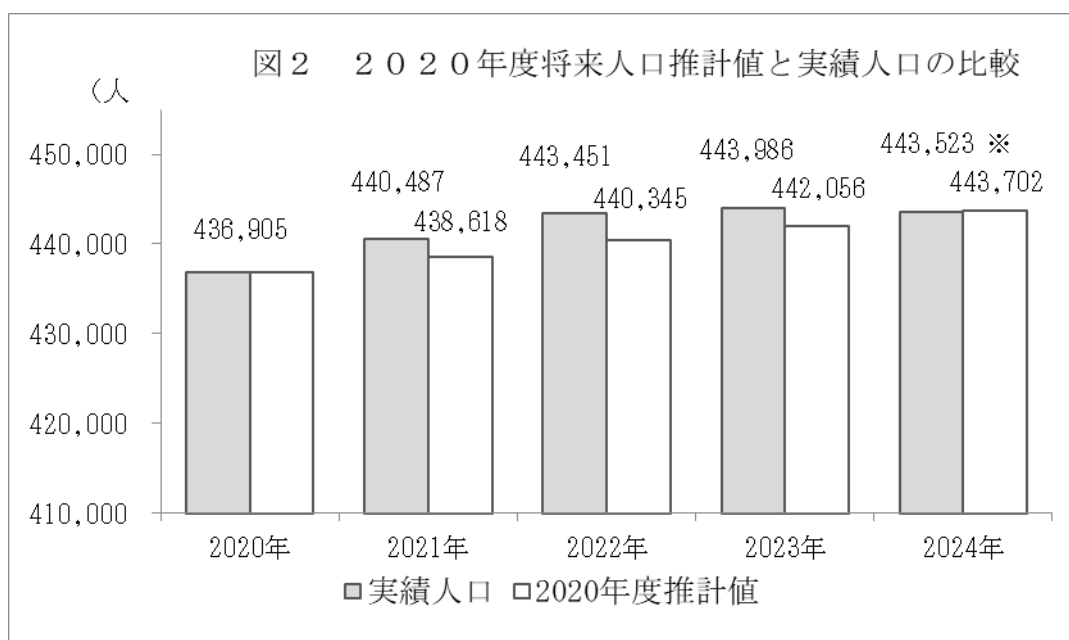


2 直近の人口推移について

文書統計課が公表している「藤沢市の人口と世帯数」をもとに、直近の人口推移についてまとめました。

(1) 将来人口推計値と実績人口（国勢調査に基づく推計人口）との比較

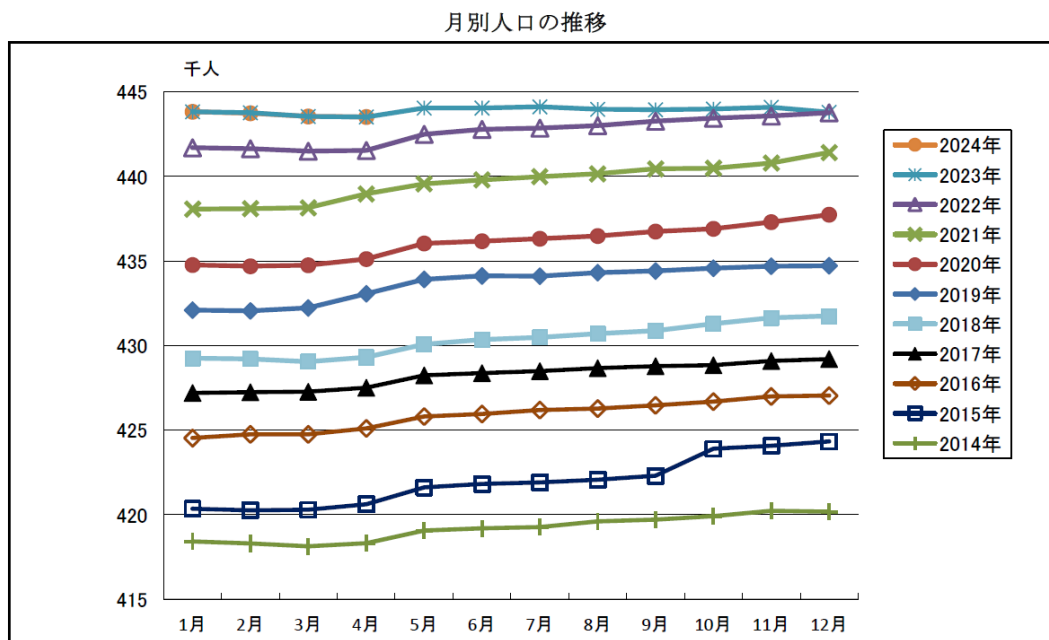
市が推計した将来人口推計値と実績人口を比較については次のとおりです。



※2024年の実績人口は、4月1日時点のもの。その他は10月1日を基準としている。

(2) 実績人口（国勢調査に基づく推計人口）の月別推移

文書統計課が公表している「月別人口の推移」は次のとおりです。



項目	2040年～2050年を見据えた中長期課題・望ましい姿
1 安全な暮らしを守る	○藤沢市国土強靱化地域計画や藤沢市地域防災計画に位置付けた施策・事業等の推進を図り、地震被害想定における死者数等の最小化を目指し、人命被害を限りなく減らす。（防災安全部） ○自主防災組織や要配慮者利用施設等の住民に対する適切な避難行動を促進し、風水害からの逃げ遅れゼロを目指す。（防災安全部） ○警察や地域団体などと連携して、犯罪抑止と交通事故減少を目指す。（防災安全部） ○藤沢市保健所健康危機対処マニュアルを基に、感染症の予防に対する体制が整備されている。（健康医療部） ○土砂災害警戒区域等における法面対策が進み、市民の生命と財産が守られ、誰もが安全で安心な暮らしを実感できる。（都市整備部） ○激甚化・頻発化する風水害、都市災害への取組の強化を進めるとともに、道路網の充実や道路交通安全対策などを推進することで、誰もが安全で安心な暮らしを実感できる都市となっている。（道路河川部） ○下水道事業の将来的視点を踏まえ、ふじさわ下水道ビジョンの基本方針に沿って下水道事業の持続と進化が図られている。（下水道部） ○激甚化、頻発化する大規模自然災害や人口構造の変化等による救急需要に対応した消防・救急救命体制の充実強化を図る。そのために、①部隊増強等を踏まえた消防力の強化と適正な配置、②さらなる消防DXの推進、③スケールメリットを見込んだ広域連携の検討、④人材の確保と育成を中長期課題とする。（消防局）
2 文化・スポーツを盛んにする	○『みんなが「大好き！」と思える藤沢』を目指し、歴史的、文化的な資源、景観を保全・継承・活用するとともに、市民による文化芸術活動や生涯学習・スポーツ活動等をさらに活発化させ、市民一人ひとりが日頃から文化・スポーツを楽しむことができる環境づくりを進める。そのために、執行体制や施設のあり方の検討に加え、各種調査や計画策定に基づく施設の整備、運用方法の検討等を中長期課題とする。（生涯学習部）
3 自然を守り豊かな環境をつくる	○2050年カーボンニュートラルの実現に向け、市民・事業者と連携し、再生可能エネルギーやエネルギーの地産地消など、環境に優しいエネルギーの活用を推進し、地球温暖化の進行が緩和されている。（環境部） ○市民・事業者・河川上流市等との協働により、海洋汚染につながる新たな廃棄物の河川を通じた海洋流出がなくなっている。（環境部） ○使い捨てプラスチックの利用がなくなり、リサイクルされずに廃棄されるプラスチックがゼロとなっている。（環境部） ○地域循環型共生圏の一翼を担う廃棄物処理システムが構築されている。（環境部） ○6つの都市拠点と13の地区拠点相互を人流、物流の面から支える交通軸が確立しており、環境負荷の低い交通体系は、三大谷戸や河川などの良好な自然空間体系とともに人の健康や幸福にもアプローチし、豊かな市民生活の実現を後押ししている。（計画建築部） ○自然環境に対する意識が高まり、良好な自然環境が保全され、自然豊かな環境の中で利便性が高く快適な生活を実感できる。（都市整備部） ○下水道事業の将来的視点を踏まえ、ふじさわ下水道ビジョンの基本方針に沿って下水道事業の持続と進化が図られている。（下水道部）（再掲）

項目		2040年～2050年を見据えた中長期課題・望ましい姿
4	子どもたちを守り育む	○包括的な子育ての未来を構築し、子育て支援を充実させるため、希望される多くの方に産後ケアサービスを届け、妊産婦健診や乳幼児健診を実施して母子保健の向上が図られている。（健康医療部） ○子ども・若者、子育て当事者のウェルビーイングが大切にされ、こどもの権利が守られ、ライフステージに応じた支援が切れ目なく受けられる。また、そのために必要な人材が育成・確保されている。（子ども青少年部） ○すべての子ども・若者が将来に夢や希望を持つことができ、安心できる居場所を持ちながら成長・活躍ができる環境がある。（子ども青少年部） ○子育てを希望する人がキャリアとライフイベントの両方にチャレンジしても大丈夫だと思え、安心してライフプランを考えられる子育て環境が整備されている。（子ども青少年部） ○社会全体で子育て中の人やこども・若者の健やかな成長を見守り後押しする「子育てにやさしいまち」が実現できている。（子ども青少年部） ○ともに学び、多くの人とかかわり合いながら自立する子どもを育成するとともに、安全・安心で、学びを支える学校づくりが実現している。（教育部） ○子どもたちの健やかな成長を支えるため、学校・家庭・地域の連携・協働を進め、すべての子ども・若者への学びのセーフティネットが構築されている。（教育部） ○すべての子どもたちへの学びと成長のため、施設面における適切な教育環境の確保や、複雑化・多様化する支援が必要な児童生徒への対応、地域人材の活用等を中長期課題とする。（教育部）
5	健康で安心な暮らしを支える	○ソーシャルインクルージョンの考え方を踏まえ、地域の生活課題に対して「自助」、「互助」、「共助」、「公助」による重層的なネットワークの構築を目指す。公助で担うべきサービスを提供しつつ、その活動を支援し、地域福祉を総合的に推進する。（福祉部） ○老朽化する施設の再整備など設備、施設において超高齢社会の先を見据え、整備計画を更新・策定する。（福祉部） ○多様なライフスタイルのもと、個人の主体的で様々な選択を可能にするとともに、住み慣れた地域において、すべての人が、健康で、安心して暮らし続けられるよう、きめ細やかな保健、医療、福祉、介護をさらに充実させ、共に支えあう地域社会を築き、心身ともに健やかな暮らしが充実できる都市を目指す。（健康医療部） ○市民が安心して在宅医療を利用できる体制が作られている。また、ACP※の普及啓発が進み、市民がそれぞれの最終段階の迎え方を考え、備えることができる社会になっている。そのために、全世代への普及啓発を継続した課題とする。（健康医療部） ○すべての人が健康で安心して暮らし続けられるよう、常に高度で質の高い安全な医療を提供し、将来に渡って持続可能な病院運営ができることを目指す。そのために、①当院の地域における救急医療とがん医療の強化、②地域医療機関との機能分化・連携強化、③収支改善を中長期課題とする。（市民病院）
6	地域経済を循環させる	○都市拠点等の整備に合わせた企業誘致・集積や創業支援の充実と、脱炭素・DX時代の変化を踏まえた中小企業への総合的支援の充実を目指す。（経済部） ○地域コミュニティを支える商店街への支援や大規模商業施設の老朽化に対応した藤沢駅周辺の商業機能等の強化など、Eコマースの拡大等も踏まえた地域商業振興が図られている。（経済部） ○持続可能な観光魅力づくりと戦略的な誘致活動、ホスピタリティの深化、居心地の良い観光空間の創出など、北部地域を含む全市的な観光振興の展開を目指す。（経済部） ○本市の食や自然を支える農水産業における、高齢化や担い手不足への対策や地産地消による農産物価格の維持・向上など、持続可能な環境づくりが構築されている。（経済部）

項目		2040年～2050年を見据えた中長期課題・望ましい姿
7	都市基盤を充実する	○都市マスタープランを基本とした都市基盤整備が進み、6都市拠点を中心とする都市機能集積と13の地区拠点を中心とする豊かな住生活環境の広がりがおりなす集約型都市構造が構築されている。（計画建築部） ○6つの都市拠点では、それぞれに性格付けされた役割に沿って土地利用が進み、その集積した機能を存分に発揮し、都市全体に波及するにぎわいが創出され、地域経済においても正のスパイラルが確認できている。（計画建築部） ○藤沢駅周辺地区をはじめとした都市拠点等における基盤整備が完了し、産学公連携によるまちづくりや産業の誘致等を進めることにより土地利用が促進され、都市としての優位性と持続可能性が高まった状態となっている。（都市整備部） ○恵まれた交通基盤や積み重ねてきた産業集積等の強みが生かされ、市民が活力と魅力を実感できる都市が形成されている。（都市整備部） ○都市基盤施設の長寿命化を含めた再整備や再編を進めるとともに、将来にわたり魅力と活力を維持する基盤を整備し、豊かな環境の中で利便性が高く快適な生活を実感できる都市となっている。（道路河川部） ○下水道事業の将来的視点を踏まえ、ふじさわ下水道ビジョンの基本方針に沿って下水道事業の持続と進化が図られている。（下水道部）（再掲）
8	市民自治・地域づくりを進める	○人権が尊重され、国籍やジェンダーによらず、あらゆる人が共同して平和な社会を実現している。（企画政策部） ○デジタルの力で業務の再編とデータ分析を行い、さらに効率的で地域の特性を生かした拠点化の検討を進める。（市民自治部） ○様々な主体と行政が手を取り合い社会課題に対応していく、共創の理念に基づいた社会が形成されている。（企画政策部） ○市から発信する情報が整理され、必要な人に必要な情報を届けることができています。（企画政策部） ○超高齢社会やライフスタイルの多様化等により自治会・町内会の加入率も減少している現状を踏まえ、新たな視点で抜本的な対策を講じ、持続可能なコミュニティの形成を進める。（市民自治部） ○SDGs・DXの視点をより深く浸透させ、2040年の未来に向けた持続可能なまちづくりを推進する。（企画政策部・市民自治部） ○障がいの有無に関わらず、あらゆる選挙人が投票所に行きやすく、投票しやすい環境が整備され、投票率も上昇している。（選挙管理委員会事務局）
	行政運営の考え方	○市民サービスの向上や行政の効率化、地域まちづくりなどを進めるにあたって、時代の変化に適応した変革が実現できる執行体制が確立されている。（総務部） ○新たな視点や発想、異なる業務経験や専門知識などを持った多様な人材の採用、育成がなされている。（総務部） ○新たな総合指針に基づき、重点事業を始めとする様々な事業が実施されることで、市民意識調査の主要な項目において数値が向上している。（企画政策部） ○行政のDX化が進み、市民の利便性向上とともに業務の効率化が進み、限られた人的リソースが有効に活用されている。（企画政策部） ○人口減少、少子超高齢社会の進展や生産年齢人口の減少を見据え、選択と集中により「小さな市役所」を目指す。公共と民間との役割分担を整理し、将来に向けた執行体制及び財政構造を見直す。長期的な財政負担を考慮し、今後予定されている事業について、将来人口推計等に基づいて必要性の精査を行うことを中長期課題とする。（財務部）

※ACPとは、Advance Care Planningのことで、将来の変化に備えて、将来の医療及びケアについて、本人が自身の考えを、ご家族や医療・ケアチームなどと繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援する取り組みのこと

2024年5月23日
総合指針改定委員会資料3-6

藤沢市未来共創会議総括資料

目次

- 1. 実施概要：P3
- 2. 各回アウトプットサマリー
 - 1. 藤沢市全域セッション
 - 1. 令和4年度：P6
 - 2. 令和5年度：P7
 - 2. 地域版セッション
 - 1. 令和3年度（村岡地区）：P8
 - 2. 令和4年度（遠藤・御所見地区）：P9
 - 3. 令和5年度（辻堂・明治地区）：P10
- 3. 未来共創ビジョン
 - 1. 藤沢市全域セッション
 - 1. 令和4年度：P11
 - 2. 令和5年度：P12
 - 2. 地域版セッション
 - 1. 令和3年度（村岡地区）：P13
 - 2. 令和4年度（遠藤・御所見地区）：P14
 - 3. 令和5年度（辻堂・明治地区）：P15
- 4. まとめ：P16

実施概要

- 藤沢市では、政策形成及び地域人材の育成に資するため、人生**100**年時代を迎え、概ね**20**年先を見据えた将来の「まちづくり」について、地域住民をはじめとする地域における多様な関係者（ステークホルダー）が、地域の実情を共有し、対話することで、新しい発想や考え方を柔軟に取り入れた魅力と活力のある都市の共創を目指し、以下の**2**つの形式で「未来共創会議」を開催した。
- **藤沢市全域セッション**：藤沢市全域から世代や職業などが異なる多様な参加者を募り、参加者同士が対話を通じて想いを引き出しあい、自分ごととして実現したい「**ありたい未来の藤沢市の姿**」を共創し、「**ありたい未来が実現したときの暮らしのシーン**」を具体的に描いた。
- **地域版セッション**：藤沢市内の特定の地区において、各地区の世代や職業などが異なる多様な参加者を募り、参加者同士が対話を通じて想いを引き出しあい、自分ごととして実現したい「**ありたい未来の地域の姿**」を共創し、「**ありたい姿を実現するための具体的な活動企画**」を考えた。
- それぞれのセッションのアウトプットから、地域の多様な関係者が、魅力と活力を感じる未来の「まち」の姿を「**未来共創ビジョン**」として事務局にてとりまとめた。

開催概要

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
藤沢市全域セッション	未実施	オンライン開催 Day1：12/10 Day2：12/17 Day3：1/14 参加者：各回約35名	オンライン開催 Day1：12/16 Day2：12/23 Day3：1/13 参加者：各回約20名
地域版セッション	村岡地区 オンライン開催 Day1：3/5 Day2：3/12 Day3：3/19 参加者：各回約35名	遠藤・御所見地区 対面開催 Day1：2/11 Day2：2/25 Day3：3/4 参加者：各回約35名	辻堂・明治地区 対面開催 Day1：3/9 Day2：3/16 Day3：3/23 参加者：各回約20名

進め方概要

藤沢市全域セッション（オンライン開催）

- Day1：目的：藤沢市の魅力や課題を共有する
 - 実施内容：過去のセッションで作成したビジョンを見ながら、共感するポイント、違和感を感じるポイントを出し合い、**藤沢市の魅力や課題を共有**するとともに、対話を通じて**関係性を構築**する
- Day2：目的：ビジョン（問い）を共創する
 - 実施内容：Day1でできた藤沢市の魅力や課題の具体化や抽象化を行い、昨年度のビジョンをブラッシュアップし、藤沢市全体の**ビジョン（問い）**を共創する
- Day3：目的：ありたい暮らしのシーンを描いてみる
 - 実施内容：ビジョンが実現したときに、どのような暮らしが実現しているか、**具体的な暮らしのシーン**を描いてみる

地域版セッション（オンライン・対面開催）

- Day1：目的：地域の魅力や課題を共有する
 - 実施内容：参加者それぞれが感じるその**地域の魅力や課題を共有**し、理想の地域をあらわすキャッチフレーズを考えるとともに、対話を通じて**関係性を構築**する
- Day2：目的：ビジョンを共創する
 - 実施内容：理想の地域が実現したときの具体的なシーンを考え、**理想の地域が実現したときに起きている出来事を新聞記事の形で描く**
- Day3：目的：活動企画を考える
 - 実施内容：Day2で描いた**ありたい姿を実現するために必要な活動企画**を考える

※各日3時間

アウトプットサマリー：藤沢市全域セッション令和4年度

ビジョン	具体的な暮らしのシーン概要
自分らしくホッとできるまち	仕事や暮らしが効率化し空いた時間で趣味を楽しめている メタバースを活用し仲間づくりができています
ワクワクできるまち	まちなかににぎわいのある場所ができています 農業が若い世代に伝わり自然を楽しめている
生涯元気に活動できるまち	学びたい時に学びたいことを学んでいる 自分のできることを活かしていつまでも活躍できている
思いを実現できるまち	自分のアイデアを気軽に話せる場所がある 自分のアイデアが実現できる仕組みがある
つながりをもてるまち	やりたいと思ったことを気軽に体験できている 多世代の情報が共有できる場がある
安心・安全・健康にらせるまち	安心安全な交通が確保されている 多世代の交流からお互い学んでいる
世界に自慢できるまち	藤沢市全域の特徴のあるエリアをテーマパークのように便利に行き来できている 藤沢市の特産品がトータルブランディングされ知られている

アウトプットサマリー：藤沢市全域セッション令和5年度

ビジョン	具体的な暮らしのシーン概要
自分らしくホッとできるまち	世代を超えて安心感を感じて暮らしている
ワクワクできるまち	新たな技術を活用したつながりがうまれている それぞれの地域が特色を活かして活性化している
生涯元気に活動できるまち	誰もがバーチャルでもリアルでも好きなことができている
思いを実現できるまち	誰もが自分を信じやりたいことができている
つながりをもてるまち	ゆるくつながり合いモノやコトが循環している それぞれの得意なことを活かして地域での交流を深めている
安心・安全・健康にらせるまち	望まない事故・災害による被害が減っている
世界に自慢できるまち	地域発のエンタメを活かして藤沢の認知が向上している 住民の社会参画意識が向上し世界から注目されている

アウトプットサマリー：地域版セッション令和3年度（村岡地区）

理想の藤沢市	問い	活動企画タイトル	活動企画概要
自分らしくホッとできるまち	どうすれば、藤沢市の企業が地域のつながりをつくり、地域の子どものやりたいことを後押しできるだろうか？	藤沢市の子どもたちの夢を地域企業が育む	- 地元企業や地元商店街によるあらゆる年齢層の子ども向けの職業体験 - 藤沢市がこれらの情報を集約し発信することで、さらなる企業誘致や、教育に熱心な若い家族の移住のきっかけとなり、子どもたちが地元企業に就職し、藤沢市で家庭をつくるという循環に期待
ワクワクできるまち	どうやったら、わくわくしたまちがつかれるだろうか？ やりたいことが試してみられるしくみはどうしたら作れるのだろうか？	子どものワクワクを実現するフィールド～子どもまちづくり会議 →(改) 子どもSDGs会議	- SDGsに関するアイデアを子どもたちが出して、企業とタイアップし、クラウドファンディングで実現する仕組み。 - 今の行政のしくみ（予算、組織）とは別のものを立ち上げ、スピード感をもって自分たちの発想したことを実現していく。
生涯元気に活動できるまち	どうすれば、若い世代が地域に関わっていけるか？	地域指向を育てる	- 若い世代が地域を知るきっかけ作りになるために、学校で地元の工場見学や、地域の人が出張教室をおこなってくれる。 - 市の人材バンクを活用し講師を集め、コミュニティ形成も目指す。
思いを実現できるまち	どうしたらこの大学をプラットフォームに地域の活性化、地域住民のイキイキ化につなげられるだろうか？	藤沢未来人生大学始動のための人材情報収集	藤沢市在住の企業OBが講師となり人生経験をもとにした講義を行う、藤沢未来人生大学の開校に向けた、講師集め、興味がある学科のニーズ調査などを、人材バンクや自治会との連携を通じて行う。
つながりをもてるまち	誰もがつながれる居場所をつくるにはどうしたらいいか	面白い企画を持ち寄れる場をつくる（ネットでもいいが最初は対面）	いろいろな人が面白い企画を持ちよれる場所をつくる。イベントなどを頻繁に行い、いろいろな人が来る目的をつくり、つながりをつくっていく。
安心・安全・健康に くらせるまち	どうすれば、その道の良さ・名所の良さをリアルに伝えられるだろうか？	楽しいから歩いちゃう！ ～みんなで作ろう、地域の魅力～	- 地域で歩くための、いろんな目的別マップをつくる。犬の散歩や、パン屋めぐりなどの身近なテーマ。 - ウォーキングのためのコースを整備する。アプリで歩いたコースが残ったり、コース近辺で見られる動植物が確認できる。
世界に自慢できるまち	どうすれば世界一のまちにするために、様々な壁（人＜人種・言語・世代＞、エリア＜行政・地域・地区＞、交通＜渋滞＞）を超えることができるだろうか？	はじめての一步 ～世界一のまちづくりのために～	- 言語の壁を越えるために、多言語対応をすすめ、学生の留学（ホームステイ）を進める。 - ポストンとの姉妹都市化を進め、まず学ぶ。 - iParkへ優秀な人材を確保し、人的交流の場をつくりスタートアップの拠点化する。

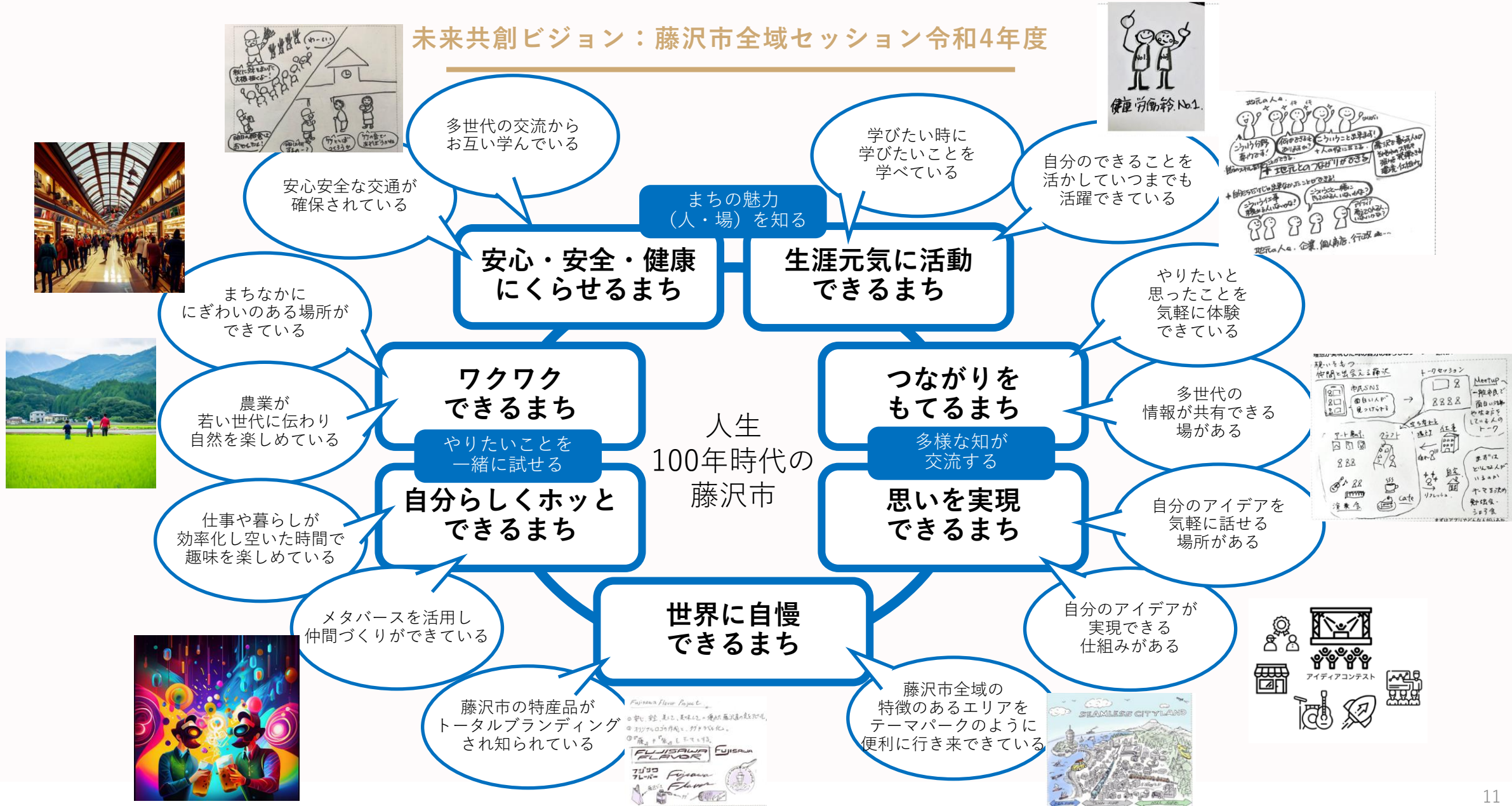
アウトプットサマリー：地域版セッション令和4年度（遠藤・御所見地区）

グループ	未来編集会議タイトル	概要	現在と大きく変わっていること	問い	活動企画
A	遠藤・御所見ドローンポート完成！	物流・交通の中心がドローンになり、道路の問題が解消している	西北部の交通課題を解決及び自然環境を生かした地域活性化	道路の存在意義は何か？	ドローン活用で不用となった道路を自然的用途で再活用した地域活性化
B	世界初！！遠藤・御所見花の街に年間1200万人	各家庭の庭先の花が有名になり、多くの観光客が訪れるようになっている	新しい仲間がいる	どのように「花の街」にするか？	「花の街」として地域の各家庭の庭の花を1200万人の観光客が観にくる！！
C	タイムスリップできる町！！	コミュニティ馬車などにより、昔の良さを活かし、エコなまちになっている	いろんな世代、いろんな場所の人が来るようになっていく	自然に優しい、人に優しい移動手段とは？	自然と生きる！！コミュニティ馬車
D	世界が認めた幸せな農ある街遠藤・御所見	農業を中心に発展し、健康寿命も伸びている	農業が持続可能になっている	すべての人がしあわせな人生を生きるには？	食の自給率を高め、健康を維持できる農業をすすめる
E	ゆったりと過ごせるまち、No1遠藤・御所見に選定	遠藤・御所見のいいところを活かしたフェスが開催されている	地元の魅力が出せる	どうすれば地域が大切にする里地・里山を残しつつ、人が集まる魅力的なまちになるだろうか？	地域の魅力をつなぐ路面電車のまち
F	ついに発見！孤立のないまち神奈川県藤沢市北部の地区が「おかえりなさいのまち」として統合！！	障がいのある人となない人、高齢者と若者などが、それぞれのできることで、お互いに助け合う社会になっている	若い世代と出会い交流できている	どうすれば、人が自然と支えあう文化を根付かせることができるだろうか？	御所見・遠藤「おかえりなさいのまち」"May I help you?"プロジェクト

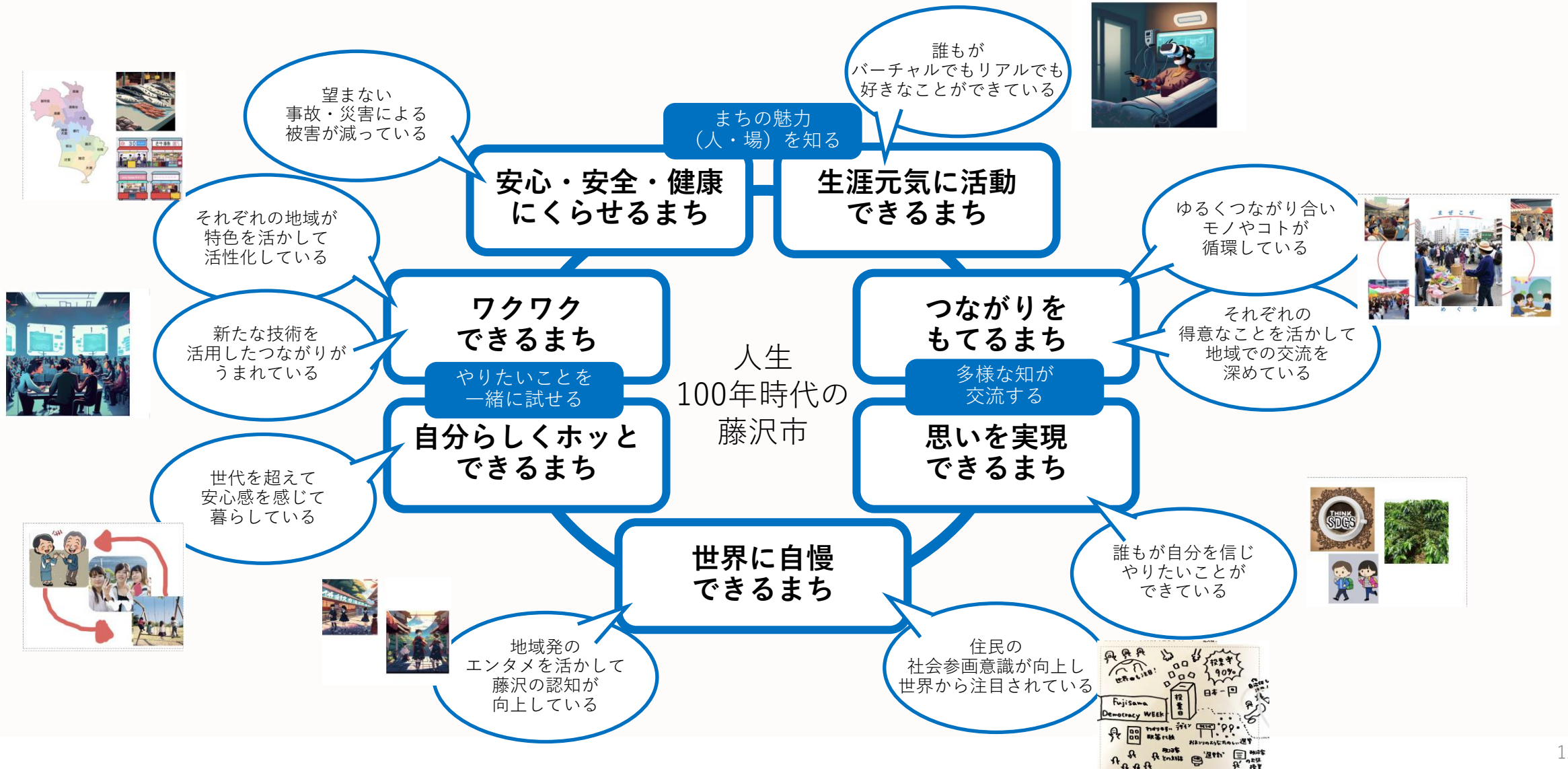
アウトプットサマリー：地域版セッション令和5年度（辻堂・明治地区）

グループ	未来編集会議タイトル	概要	課題	問い	活動企画
A	Fujisawa Palm & Pine Quest 開催！！	辻堂海浜公園で開催される、子どもがお年寄りからクエストを受注して解決するロールプレイングイベント	横のつながりがない 安心して話し合えない	どうすれば多様な人たちが安心してつながることができるだろうか？	既存の異なるコミュニティを共通のテーマでつながるきっかけをつくるイベント開催
B	ついに開通！！ 辻堂シーリエア	特色のある地域をつなぐ新しい交通網で南北のつながりができている 移動弱者も助かり交通渋滞、防災の問題も解消している	辻堂駅の南北のコミュニティや移動が分断している	インフラに頼らず交通渋滞を解消できるか？	歩ける範囲（500m圏内）で、生活に必要な機能をパッケージ化・モジュール化する
C	世代間交流グランプリ受賞！！	デジタル回覧板をアナログで回覧する仕組みで、世代間グランプリを受賞！！	必要な情報が共有されていない	どうすれば地域の人々と情報の共有ができるだろうか？	商店街の空き時間を利用したスナックで地域の人々が持っている情報を共有する
D	住みたい街ランキング15年連続1位！！！！	地域の子どもたちが運営するメタバース商店街に多くの人が買い物に来ている	子どもが社会を学ぶ機会がなく将来設計ができない	子どもの自主性を活かすには？	子どもが自主的に商売できるように、まわりの大人がサポートする子ども自主特区

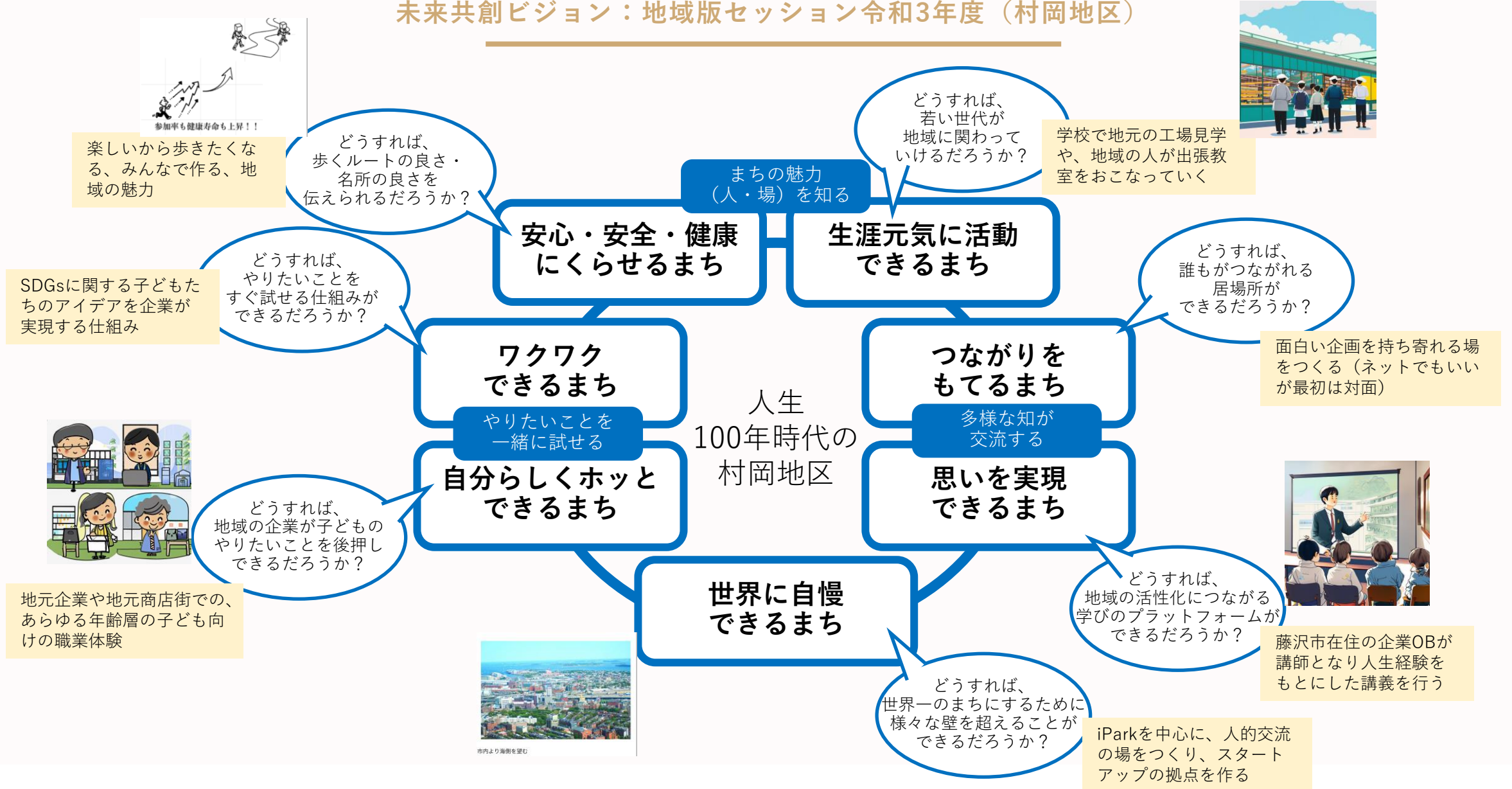
未来共創ビジョン：藤沢市全域セッション令和4年度



未来共創ビジョン：藤沢市全域セッション令和5年度



未来共創ビジョン：地域版セッション令和3年度（村岡地区）



未来共創ビジョン：地域版セッション令和4年度（遠藤・御所見地区）



たとえば
『ドローン活用で
不用となった道路を
自然的用途で再活用した
地域活性化』

安心・安全・自由に
移動できるまち

お互いが支え合い
暮らしているまち

たとえば
『御所見・遠藤
「おかえりなさいのまち」
"May I help you?"
プロジェクト』

人生
100年時代の
遠藤・御所見地区



たとえば
『自然と生きる！！
コミュニティ馬車』

それぞれができること
でまちの魅力を
つくっているまち

あるものを活かし
持続可能な暮らしが
できるまち

たとえば
『食の自給率を高め、
健康を維持できる
農業をすすめる』

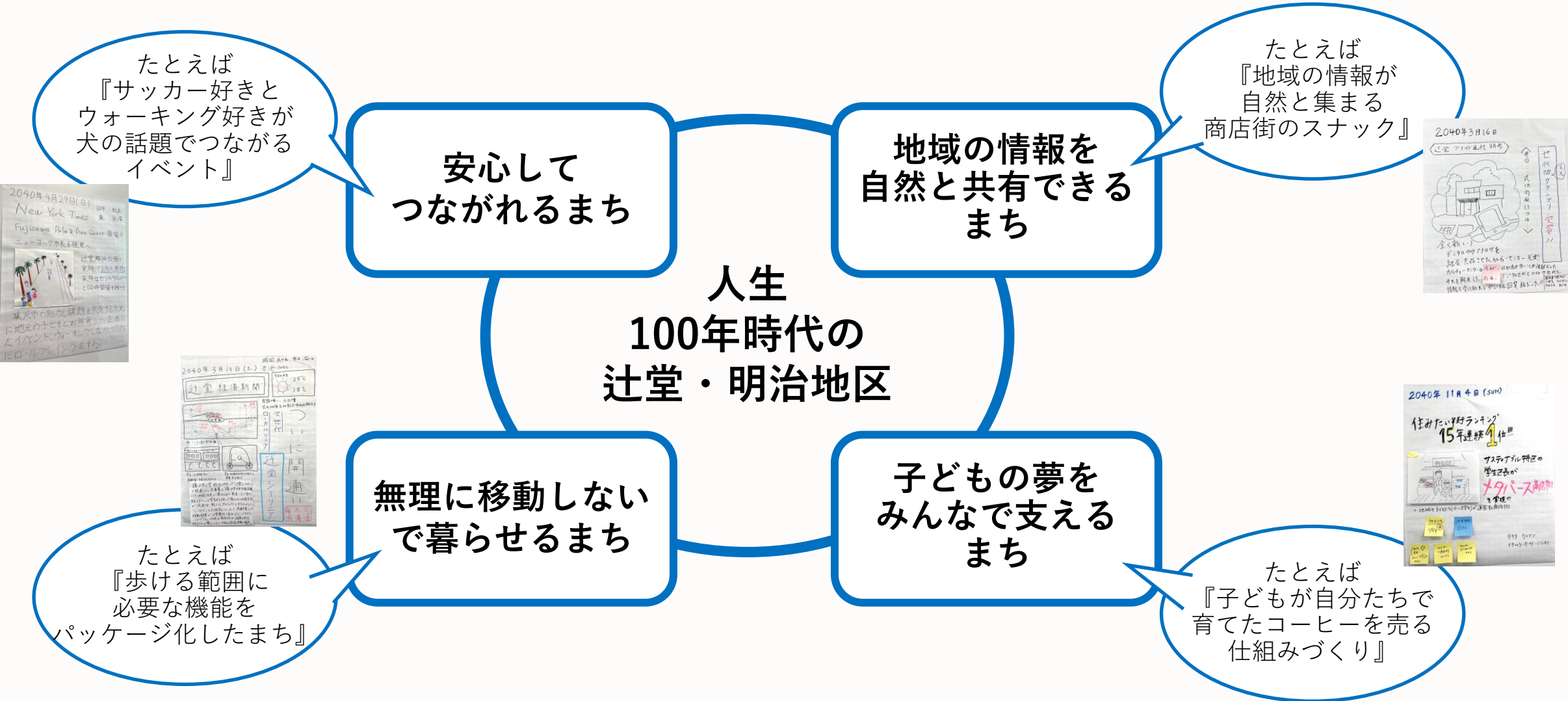


たとえば
『地域の魅力をつなぐ
路面電車のまち』



たとえば
『「花の街」
各家庭の庭の花を
1200万人の観光客が
観にくる！！』

未来共創ビジョン：地域版セッション令和5年度（辻堂・明治地区）



まとめ

- 藤沢市全域セッション

- オンライン開催にすることで市内全域から様々な世代・属性の参加者が集まり、多様な未来の暮らしのシーンが描けた。
- まちづくりに関心がある人の参加が多く、オンラインながら活発な対話が行われた。
- 参加者の活動地域が多様なため、チームでの活動は生まれにくいと考え、チームで一つのアウトプットを作成するワークは設定していないが、セッション中の対話を通じてセッション終了後も一部で参加者同士の自主的なつながりが継続している。

- 地域版セッション

- もともと地域で活動している人の参加が多く、具体的な話題が多いため、地域外から参加している人の地域への理解も深まった。
- 地域の魅力や課題を話すことから始めるなど、地域を意識するセッションの構成にしていることなどから、地域特有のアウトプットを生み出した。
- 理想を実現するための具体的な活動企画については、早期の実現を期待させるものがいくつも生まれた。

- 今後に向けて

- セッション終了後も参加者同士のつながりを継続・促進する仕組みの提供が望まれる。
- 理想を実現するための活動企画を支援する仕組みの提供が望まれる。
- 上記のつながり支援、活動企画の支援を行い、また、地域版セッションの他地域への展開を促進するためのファシリテーションができる地域人材の継続的な育成が望まれる。